

# おやじの祖国で おれのブルース

## 韓国5都市で初ライブ

在日韓国人2世のブルースシンガー、新井英一さん(52)が初めて韓国でライブを開く。ソウル在住の元日本留学生が新井さんに「本当の日韓交流のために韓国で歌って」と要請したのがきっかけ。4月下旬からソウル、釜山など4都市を回り、アルバムタイトルにもなった父親の故郷、慶尚北道・清河でツアーを締めくくると、新井さんは「在日としてのメッセージを心のふるさとの人たちに届けてほしい」と話す。

### 在日の新井英一さん



新井英一ライブツアー



昨年12月、新井さんの一年で家出し、働いていた東京の事務所にフアックスが届いた。送ったのは日本に留学中からフアンだった大学講師の妻(通称さん(30)。上智大学大学院で在日朝鮮・韓国人問題を研究し、新井さん取材したこともあった。「日韓交流はサッカーのワールドカップ共催で盛んになったが、韓国では在日の歴史や問題はほとんど知られていない。曲にも在日という存在が溶け込む新井さんの音楽を韓国の人に聞かせてほしい」

妻さんは、新井さんの韓国ライブにそんな思いを込めたという。新井さんも「感謝します。やってみましょう」と応えた。妻さんは韓国での新井さんの初ライブに向けて実行委員も買って出て準備を進めている。

新井さんは福岡市出身。子供のころから差別やいじめにあって中学3

「清河への道」48番」はレコード大賞アルバム大賞にも選ばれている。韓国では98年から日本の大衆文化が開放され始め、新井さんも「早くおやじの国でライブを」と考えていた。だが、会場探しなど現地での支援面

今回、ツアーになったのは、終戦直後に帰国途中の朝鮮人らを乗せて沈没した「浮島丸事件」を扱った映画「エイジアン・ブルー」が昨年上映された光州などでも「せひライブを」との声があったからだ。

ある映画会社のプロデューサーが韓国の知人たちと連携して、各地でライブ実現のめどがついた。新井さんはツアーを前に韓国語で歌える曲目を増やそうと、練習に力を入れていた。特に最後の清河のライブでは「清河……」全48番を韓国語で歌いたいという。ツアーの日程は地図の通り。問い合わせは新井英一事務所(03・5430・8220)へ。

### 日韓・日朝、歌がつながく

の問題で実現していなかった。

「清河への道」はこの映画の挿入歌。京都市に